玉川上水・野の花だより　No. ４７

ジュウガツザクラ *Cerasus subhirtella*

東京大学名誉教授　　中央大学研究開発機構・機構客員教授

石川　幹子

2026 年　10 月 21 日



大山緑道で、ジュウガツザクラが咲き始めました。春に爛漫と咲く、ソメイヨシノのような華やかさはありませんが、うす紅色の透き通るような花びらが、思いもかけない「秋の出会い」を、告げてくれます。

日本の桜の文化の奥深さを偲ばせる桜で、エドヒガン系の園芸品種と言われています。エドヒガンは、日本に自生する野生種の一つで、大木になります。

長寿で知られる桜としては、山梨県の「神代桜」や、岐阜県の「薄墨桜」、福島県三春の「滝桜」等がありますが、ジュウガツザクラは、樹高５メートル程の亜高木です。花は小ぶりで、ややうつむいて咲き、奥ゆかしさがあります。

大山緑道のソメイヨシノの老木や、新しく植えられた「神代曙」と共に、玉川上水の桜の回廊を彩る桜です。これから１１月にかけて、満開となります。



秋の柔らかな木漏れ日の中で、皆様を優しく、お迎えしてくれる桜です。

ジュウガツザクラ
（十月桜）
2026 年 10 月 20 日撮影
大山緑道